

郷土の味を後世に残そうと昭和58年に結成した、農産加工グループ「うんめもんの会」。

けせん団子やあくまき、ふくれ、がね……。以前は当たり前のように家庭で作られていました。しかし、年中行事や節句で郷土料理を作る機会は減り、子どもたちが「ふるさとの味」という貴重な文化に触れる機会も、時代の流れで減りつつあります。

これまで親から子、そして孫へと長年受け継がれた郷土料理もまた、地域が誇る次代に残すべき逸品です。「お客さんから届く声や手紙が元気の源」と笑う五人。今日も加工所の奥からにぎやかな会話が聞こえてきます。ふるさとの「うんめもん」を届けるために。



錦江町ふるさと便

商品が掲載されたカタログは6月の使送便で配布してあります。役場の窓口にも設置してあり、町ホームページでも掲載していますのでご利用ください。「のし」対応の店舗もあります。▶



お世話になったあの人へ、大切なあの人へ、贈りたい懐かしい味。ふるさとの味をお届け

新型コロナの影響で帰省が難しい家族や親せきにふるさとの味を——。全国に誇る逸品が集結した「錦江町ふるさと便」が7月にスタートしました。この機会に、大切なあの人へ「ふるさとの味」を贈ってみては。

「錦江町ふるさと便」は8月末まで町民に限り送料無料▼

錦江町ふるさと便
8/31日まで
送料無料

錦江町ふるさと便掲載の26店舗

厚ク瀬精肉店 / 内門精肉店 / 飯屋ファーム / 南州農場 / 福明館 / ふる里館 / 〇我利多 / 鶴瀬水産 / 矢野蒲鉾 / ほりうち / うんめもんの会 / 甘宮 / N. (エヌ) / 川野食品 / ホテルたけや / しばたて観光農園 / 浜田農園 / にしきの里 / 虹の笑 / 原製菓舗 / 菓心まとはら / 城下製茶 / 新鮮倶楽部おやま / 毛下酒店 / 山南酒店 / 花千手

ふるさと納税に出品する26事業者が自慢の逸品を集結させた「錦江町ふるさと便」が完成し、先月の自治会使送便で全戸に配られました。どうしても町外に向けて発信しがちなふるさと納税の取り組みや返礼品。普段はあまり目にするこの少ない「まちが全国に誇る逸品」をこの機会に味わってみてはいかがだろうか。8月末まで町民限定で送料が無料になります。新型コロナの影響で帰省が難しい家族や親せきへ、ふるさとの味を届ける機会かもしれません。

錦江町特産品協会 オンラインショップ

特産品協会がオンラインショップを開店。厳選したイチオシ商品を今だけ送料無料でお届けします。(期間限定)



錦江町特産品協会 城下浩一 会長



錦江町特産品協会
期間限定で
送料無料



Check! ▶

明確に数字として表れた成果はまちが誇る特産品の真価

ふるさと納税の寄付額は増え続け、昨年度は1億8千万円以上。これは、自主財源である町税収入の約3割を占めます。明確な数字として表れた錦江町の取り組みや、まちが誇る特産品の真価。「なにもないから」と言い訳をしては、埋もれている真の価値に気づかないもの。ふるさと納税を通じて全国から寄せられる声が、近すぎて気づけなかったまちの魅力にスポットを当て始めました。

厳選の逸品を一部ご紹介
大切なあの人へ

生産者がこだわり抜き、思いを込めた逸品が「錦江町ふるさと便」に多数掲載。この機会にふるさと錦江の味を大切なあの人へ——。

ふるさと便カタログに掲載がない場合も、ふるさと納税の返礼品は**送料無料**となります

老舗菓子店が誇る逸品 原製菓舗

大正15年創業の原製菓舗。全国菓子大博覧会で大賞受賞の「ひとくちげたんは」は、天文館「かご市」でも黒糖菓子部門1位を誇る逸品。



要望に合わせて銘菓を詰め合わせ

一頭買いにこだわる 内門精肉店

昭和32年創業の内門精肉店は、未經産の国産黒毛和牛や黒豚を一頭買いするこだわり。手作り味付ミックスホルモンは人気商品のひとつ。



黒豚の焼肉セットも売れ筋商品

クラシックで高い精度 しばたて観光農園

クラシック音楽を聴かせて糖度の高いブドウを育てる。巨峰やデラウェアなど10種類以上のブドウ狩りが楽しめる。開園は7月下旬頃。



花瀬観光農園の開園式では生演奏

まちの逸品から見てきたふるさとへの誇りと自信

ふるさと納税という「制度」を通じて始まった事業者同士の連携。地域が立ち上がり、特産物から新たに生み出した自慢の焼酎。お客さんの声に支えられ、伝統を受け継ぎながらその味を守り続ける技と想い……。きっかけは返礼品だったかもしれない。きつかけは返礼品だったかもしれない。しかし、寄附額を増やすことがゴールではありません。制度に依存するのではなく、制度がなくなったその先に何が残るのか。今、真剣に向き合う転換期にきています。

何気なく口にして「なにもない」。それは、私たち自身が普段からあまりに近く、当たり前のように存在として生活に溶け込みすぎているからかもしれません。全国から寄せられる声が地域の逸品に光を当て、その魅力に気づかせてくれました。

ふるさと納税をきっかけに見えてきた「まちが誇る逸品」。あらためてその魅力に触れ、実感することが私たち自身の誇りになるはず。

